

浜松バッハ研究会・豊橋バッハアンサンブル演奏会

モーツァルト レクイエム

J.ハイドン 皇后マリア・テレジアの為のテ・デウム

J.S.バッハ モテット 〈主に向かって新しき歌を歌え〉



2017年 6月18日(日)
アクトシティ浜松中ホール

主催 浜松バッハ研究会・豊橋バッハアンサンブル
後援 静岡県・公益財団法人静岡県文化財団
浜松市・公益財団法人浜松市文化振興財団
豊橋市・公益財団法人豊橋文化振興財団
静岡県合唱連盟・浜松市合唱連盟・浜松交響楽団
静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社

ご挨拶

皆様、本日は浜松バッハ研究会と豊橋バッハアンサンブルの演奏会によろしくお願いいたしました。私どもは2015年4月に創立30周年(豊橋20周年)を記念してバッハの大作マタイ受難曲を演奏いたしました。その後バッハの影響を受けた古典派の作品にも取り組むことに致しました。

1750年に大バッハが亡くなったあと、彼の音楽は息子や弟子達に引き継がれ、ライプツィヒからハレ、ベルリン、ハンブルク、ロンドンなど各地に伝えられました。定説ではその後バッハの音楽は次第に忘れ去られ、再評価されるのは1829年のメンデルスゾーンによる「マタイ受難曲」の蘇演を待たねばならなかったといわれています。しかし実際にはウィーン古典派の三大作曲家であるハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンがバッハの音楽から大きな影響を受け、その痕跡が彼らの作品にも色濃く残っているというのが最近の研究により明らかにされています。ウィーンにバッハの作品を伝えたのはゴットフリート・ヴァン・スヴィーテン男爵ですが、外交官としてベルリン滞在中に、時のフリードリヒ大王の妹アンナ・アマリアのサロンでバッハの息子達と親交を結び、偉大なバッハの音楽に触れ、多くの楽譜を収集してウィーンに持ち帰りました。後にスヴィーテン男爵が開いたサロンでハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン達がバッハの音楽に親しむことになったわけです。

今回は第1回目としてハイドンとモーツァルトを取り上げます。モーツァルトがライプツィヒの聖トーマス教会で聴いて驚嘆したと伝えられるバッハのモテット1番の壮大な二重合唱をお聴きいただいたのち、ハイドンが皇后マリア・テレジア(有名なマリア・テレジアの孫)の為にかいた華やかな「テ・デウム」、そしてモーツァルトの遺作「レクイエム」を演目として選びました。バッハの偉大な音楽の流れをこれらの作品の中に聴き取っていただければ幸いです。

次回はベートーヴェンの作品にも取り組む予定です。

最後になりましたが、本日の演奏会開催にあたり、ご協力・ご支援賜った皆様方に深く感謝申し上げます。

浜松バッハ研究会代表 河野 周平
豊橋バッハアンサンブル代表 安井 研一

演奏曲目

J.S.バッハの系譜シリーズ No.1 “ハイドンとモーツァルト”

J. S. バッハ モテット第1番 <主に向かって新しき歌を歌え> (15分)
J. S. Bach <<Singet dem Herrn ein neues Lied>> BWV 225

♪指揮者によるショートレクチャー♪

J. ハイドン 皇后マリア・テレジアの為のテ・デウム (10分)
J. Haydn Te Deum für die Kaiserin Marie Therese Hob. XXIIIc:2

休憩 (15分)
Intermission

W. A. モーツァルト レクイエム (バイアー 2005年版) (55分)
W. A. Mozart <<REQUIEM>> KV 626 (F. Beyer version 2005)

出演者 プロフィール

指揮者 三澤 洋史 (みさわ ひろふみ)

国立音楽大学声楽科卒業後、指揮に転向。ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。

2001年より現在まで新国立劇場合唱団指揮者。1999年から2003年までの5年間、「パイロイト音楽祭」で、祝祭合唱団指導スタッフの一員として従事。2011年、文化庁在外研修員として、ミラノスカラ座において、合唱指揮者ブルーノ・カゾーニ氏のもとでスカラ座合唱団の音楽作りを研修。

バッハに深く傾倒しており、マイ受難曲、ヨハネ受難曲、ミサ曲口短調など全て暗譜でレパートリーに有する。2000年暮れから2001年初めにかけての浜松バッハ研究会ドイツ演奏旅行では、エアフルト、ハレでのミサ曲口短調成功に加え、ライブツィヒ聖トーマス教会の新年音楽礼拝を聖トーマス合唱団に代わり務めた。2006年、自らのバッハ演奏のホームグラウンドとして東京バロックスコラズを立ち上げ、ここを根拠として「21世紀のバッハ」をめざして多角的な活動を行っている。

現在、新国立劇場合唱団指揮者、東京バロックスコラズ音楽監督、名古屋モーツァルト200合唱団、志木第九の会、浜松バッハ研究会、常任指揮者。新国立劇場合唱団の業績が評価され、2016年、JASRAC音楽文化賞受賞。



ソプラノ 飯田 みち代 (いいた みちよ)

京都大学教育学部教育心理学科卒業。飯塚音楽コンクール大賞他多くのコンクールで受賞、また、愛知県芸術文化選奨を受賞。「ルル」「アイナダマル」「メデア」などの難曲の日本初演を主演し、主演したオペラは芸術祭大賞、ミュージックペンクラブ賞等を受賞した。『歌唱力抜群で、陰陽自在な発声で多層の女性像を魅力的に描き出す、驚くべき才能』(音楽現代より)などと、絶賛されている。2015年音楽之友社のアンケートにより、世界のディーヴァベスト100に選ばれた。

また、コンサート活動も活発で日本国内のみならず、イタリア・ドイツ・オーストリアにもリトリサイタルや各種コンサートに出演している。2017年はハンガリーでも出演予定。『飯田みち代愛を歌う』『Michiyo Iida sings Richard Strauss und Alban Berg』(プライザーレコード)、『前田佳世子歌曲集』などがリリースされている。二期会会員。



メソソプラノ 森 季子 (もり ときこ)

京都市立芸術大学大学院修了。修了時大学院賞受賞。京都芸術祭において毎日新聞社賞、京都市長賞、亀岡市長賞受賞。ドイツ歌曲によるソロリサイタルで「歌曲が音楽と文学の融合であることを改めて感じさせてくれた演奏」と好評をうけ、青山音楽賞新人賞受賞。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科に留学。

宗教曲等ではバッハ「ヨハネ受難曲」(清廉な声質・緻密な感情移入で出色と評された)、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」、ベートーヴェン「第九」、シューベルトミサ曲、マーラーの作品などのソリストを務める。

オペラではモーツァルト「フィガロの結婚」出演。びわ湖ホール声楽アンサンブルに2009年より2014年の6年間に在籍。うち2年間、コンサートミストレスを務める。これまでに北村敏則、M.ウングリアヌ、W.モーア、加納悦子の各氏に師事。現在、びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー、IL DONGRIメンバー。



テノール 大久保 亮 (おおくぼ りょう)

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院音楽研究科声楽領域博士前期課程首席修了。

ヘンデル「メサイア」、バッハ「マニフィカト」「復活祭オラトリオ」、ハイドン「天地創造」、モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「ミサ曲ハ長調」「交響曲第9番」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などにテノールソロで出演。また、バッハのミサ曲、受難曲では小林道夫氏による指導を受け、同氏が指揮するマイ、ヨハネ両受難曲でエヴァンゲリストを、松本バッハ祝祭アンサンブル演奏会「ミサ曲口短調」でテノールソロを歌っている。

リサイタルも定期的に関催し、これまでにシューマン「詩人の恋」、シューベルト「美しい水車小屋の娘」「白鳥の歌」を演奏している。声楽を二宮咲子、近藤恵子、松下雅人、二神二郎、畑 儀文の各氏に師事。



バリトン 能勢 健司 (のせ けんじ)

愛知県立芸術大学大学院修了後、ドイツ・マンハイムにて研鑽。新国立劇場オペラ研修所第9期生修了。

ひろしまルネサンスオペラ『イル・カンピエッロ』(佐藤正浩指揮、栗岡淳演出)『魔笛』(岩田達宗演出)、沼尻竜典&トウキョウ・モーツァルトプレーヤーズ『ドン・ジョヴァンニ』等出演。また、外山雄三指揮ベートーヴェン『第九』、鈴木雅明指揮 BCJ『マイ受難曲』、松尾葉子指揮トリフォニージュニアオーケストラと オルフ『カルミナ・ブラーナ』、名フィル第409回定期演奏会 円光寺雅彦指揮 ニールセン『交響曲3番』、ドイツ・ハレ大学管弦楽団と『戴冠ミサ』クロアチアの首都ザグレブにおいて 国交樹立20周年記念演奏会等、宗教曲のソリストを務める。

全日本学生音楽コンクール名古屋大会3位。友愛ドイツ歌曲コンクール入選。日本演奏連盟推薦新人演奏会にて中日賞受賞。現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科准教授、名古屋市立菊里高校音楽科非常勤講師。



コンサートミストレス 北川 靖子 (きたがわ きよこ)

W.シュタフォンハーゲン教授に師事。東京芸術大学卒業。1971年、オーストリア国立ウィーン音楽大学入学、ヴァイオリンを

F.サモヒール教授に、室内楽をF.ホレチェック教授に師事。1975年、ウィーン音楽大学を全教授一致の最優秀で卒業。

ザルツブルク・ミラベル宮殿、東京でリサイタル。1976年、ハンブルク交響楽団に入団、コンサートミストレスに就任。

1981年、ハンブルク市文化局主催コンサートでリサイタル。1985年12月～91年12月、姉・北川暁子と25回の「ドウオのタベ」

を開催。1987年、東京でリサイタル。1989年、北川暁子、千本博愛と「セルヴェトリオ」を結成、以後毎年演奏会を開催。

1992年以降は北川暁子との「ソナタのタベ」を毎年開催している。

現在、2001年11月に高松に設立された瀬戸フィルハーモニー交響楽団コンサートミストレス。

浜松バッハ研究会・管弦楽団には1985年の創立以来、ほとんどの演奏会に参加。



オルガン 花井 淑 (はな い とし)

名古屋音楽大学音楽学部器楽科ピアノ専修卒業。大学在学中より名古屋・カトリック五反城教会に於いて、パイプオルガンの勉強を始め、オルガンを住山久爾子、本多七瀬、故 F.ポーンの各氏に師事。また、Z.サットマリー、故 A.シェーンシュテット、H.フォーゲルの諸氏によるオルガン・マスタークラスに参加。

1982年～1986年、名古屋音楽大学嘱託研究員を経て、現在、カトリック五反城教会オルガニスト、東京福祉大学非常勤講師。日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会、日本リードオルガン協会、立教大学教会音楽研究所友の会、名古屋バロック音楽協会各会員。ソリスト及び通奏低音奏者として活躍中。浜松バッハ研究会の演奏会には 1996年の「マイ受難曲」以来、ほぼ毎回参加し、2000年暮れから2001年初頭にかけてはドイツ演奏旅行にオルガニストとして同行しライブツィヒ聖トーマス教会の新年音楽礼拝で演奏した。



浜松バッハ研究会・管弦楽団

浜松交響楽団、カペラ・アカデミカ、ソナス・アンサンブル、掛川市民オーケストラなどから、バッハおよびバロック音楽をこよなく愛する有志が集い、バッハ研究会公演の度に組織されている。また浜松フィルハーモニー管弦楽団やアンサンブル・ムジーク浜松などから専門家を招聘し、レベルの高いアンサンブルで好評を得ている。

Concertmistress	北川 靖子 (元ハンブルク交響楽団コンサートミストレス)					
Violin I	疋田 清香	松嶋 多恵	土屋 里奈	前澤 陽	長谷川 悠	東儀 温
Violin II	小沢 規子	松嶋 朗生	北川 瑞季	木内 麻希子	田中 香欧里	田邑 利香
Viola	小林 勝	篠田 侑香里	小林 はる奈	森下 香菜絵		
Cello	神農 清志	西村 美菜子	沖 佐知江			
Contrabass	田邑 元一					
Flute	木村 伊都子					
Oboe	大橋 弥生	村瀬 正巳				
Clarinet	美和 雅樹	山岡 由起子				
Faggot	曾布川 利貞	高木 麻衣				
Horn	末永 雄一郎	藤崎 智幸				
Trombone	増田 博行	近藤 隆弘	岩下 仁美			
Trumpet	福田 徳久	岡部 比呂男	大畑 和也			
Timpani	今泉 好雅					
Organ	花井 淑					

浜松バッハ研究会・合唱団

バッハ生誕300周年の1985年に結成され、マタイ受難曲、ヨハネ受難曲、ミサ曲口短調などの大作や、クリスマス・オラトリオ、カンタータ、モテットなどを取り上げ、管弦楽団と共に上演している。2000年にドイツ演奏旅行を行いライプツィヒの聖トーマス教会で演奏した。常任指揮者として我が国バッハの権威である新国立劇場指揮者の三澤洋史氏を招き、バッハの音楽を深く学びつつその魅力を多くの皆様にお伝えすべく、姉妹団体である豊橋バッハアンサンブルと共に活動を続けている。

	常任指揮者 :	三澤 洋史	ヴォイストレーナー :	三輪 陽子			
	練習指揮者 :	早川 美香	ピアノ伴奏者 :	宮本 いずみ			
Soprano	青野 多恵子	今村 陽子	河合 良子	川瀬 綾子	手嶋 亜彩子	中村 修子	
	並木 佳子	丹羽 多美子	早川 美香	平野 真奈美	増井 京子		
Alto	渥美 法子	金丸 則子	河野 善子	木内 淳子	鬼頭 計枝	柴田 智子	
	鈴木 理恵	長谷川 明子	長谷川 公子	細倉 ゆずる	溝口 和美	森田 啓子	
	山田 セキ子	山田 智子	山中 美恵				
Tenor	丹羽 哲也	畑山 譲	平野 好道				
Bass	大村 忠宏	河野 周平	土川 幸一	宮 秀雄	山田 和典	山田 溪人	
	山田 滋美	山中 進	横山 茂				

豊橋バッハアンサンブル

バッハを歌いたい、だけど毎週浜松まで出かけるのは無理…という豊橋在住の人達が集まり、1994年8月にできた合唱団が豊橋バッハアンサンブルで、いわば浜松バッハ研究会の分身。毎週豊橋で練習し、三澤先生の練習があるときは、浜松に出かけて、浜松バッハ研究会と一緒に参加している。

	練習指揮者 :	河野 周平	ピアノ伴奏者 :	高木 克子			
Soprano	伊津野 泰子	北原 初代	白井 登枝江	三宅 ゆりの	村上 明子		
Alto	伊藤 道子	大津 ティナ	小林 益世	富田 康江	浪崎 加代		
	彦坂 克美	馬淵 京子	森下 静子				
Tenor	磯貝 光善	伊津野 真一	岩月 淑記	杉山 直樹	村上 裕二		
Bass	清原 正高	駒沢 真司	富田 充	原口 直樹	安井 研一		

演奏会スタッフ

ステージ・マネージャー :	早川 徳次	フロア・マネージャー :	河野 真剛				
秋山恵美子	伊津野莉々子	亀坂 美月	金子 恒江	川田 咲度	河野 善子	黒田 浩子	
鈴木 有子	鈴木 瑠美子	土川 さち子	長谷川 正仁	前田 知子	宮森 芳美		
ビデオ撮影 :	近田 正己	近田 恒子	録音 :	福本 信夫	新井 明		
チラシ表紙デザイン :	ふるはしよしこ		プログラム制作 :	河野 周平	河野 善子	山中 美恵	

3人の巨匠の立ち位置

三澤 洋史

昨年9月、中央大学混声合唱団の定期演奏会で、バッハ作曲モテット第1番 BWV225、ハイドン作曲「マリア・テレジアの為のテ・デウム」及びモーツァルト作曲ミサ曲ハ短調 KV 427 というプログラムを指揮した。

曲目構成は僕が行ったが、中央大学混声合唱団の練習に何度も足を運ぶ内に、この「モーツァルトの系譜」と名付けられたプログラム構成が、学生達に様々な意味で思いもかけない好影響を投げかけていることに気付いた。

まず、それぞれの作風の違いが際立っていて、様式感を把握するのに最適の教材であったこと。バッハのモテットは、その中でも特に古い様式にのっとなって書かれている。それに対してハイドンとモーツァルトは古典派の作曲家。ここの違いは明確であるが、予想外であったのは、同じ古典派でも、ハイドンとモーツァルトの様式感の違いが際立っていたこと。ハ短調ミサ曲には、バッハの口短調ミサ曲からの構成的な影響が見られるが、同時に Et incarnatus est の色彩に富んだ管弦楽法とそれにからむソプラノ・ソロなどを聴くと、すでにハイドンよりもずっと未来を見据える天才の視線を感じる。

僕は、今回の浜松バッハ研究会のプログラムを考えるに当たっても、もう一度このプログラム構成に似たものを演奏してみたい欲求を感じていた。しかも、そのメイン・プログラムを、モーツァルト最後の作品であるレクイエム KV 626 にしたらどのようになるのだろうかと思像するだけでワクワクしていたのである。

モーツァルトは、ミサ曲ハ短調を作曲した時にはバッハのモテット第1番をまだ知らなかった。しかし晩年の1789年に、彼はこの曲と決定的な出遭いをする。ベルリンへの旅の途中に立ち寄ったライプツィヒで聴いたこのモテットに、ショックともいえるほどの感銘を受けるのである。そして、

「この曲の中には、まだ僕が学ばなければならないものがある」

と言って、楽譜を強く求めたと言われているのだ。

その経験がそのままレクイエムの作曲法に反映されたと考えるのは短絡的であろうが、少なくとも、彼の晩年の作品群を見る限り、対位法の多用に始まる彼の作風の変化をもたらした原因となっていることは否定できないと思う。

その意味で、モテットとレクイエムのコンビネーションは、中央大学の演奏会よりも、むしろ深い必然性を持っているといえる。この2つの傑作の間に、モーツァルトが生涯にわたって親近感を抱いていたハイドンの作品を入れるのにも意味がある。ハイドンは、交響曲作曲家として知られているが、彼のオラトリオやこのテ・デウムに見られるように、フーガの技巧はまさに巨匠の域にある。しかしながら、ハイドンのフーガは、より古典派的構成感の中で展開し、まとまっている。あたかも、これこそが古典派の宗教曲だ、と言わんばかりに。

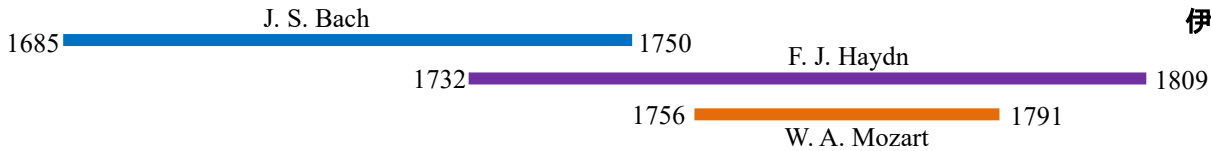
一方、「キリエ」のフーガに見られるように、モーツァルトのレクイエムは、よりアルカイック(懐古趣味的)に過去を志向している。しかもその技法は洗練の極みを見せ、モーツァルトの内面において、バッハからの影響が再構築され、もはやモーツァルト自身のオリジナリティと化しているように感じられる。

この3曲は、このように並べられてこそ、互いにその長所が際立つこととなる。演奏する側としても、様式感の違いを把握し、描き分けることによって柔軟性を獲得しつつ、それぞれの作曲家の時代性と共に、時代から逸脱している個別的な天才性を把握するのに最適なプログラミングなのである。

バッハ、ハイドン、モーツァルトの3人の巨匠は、音楽史においてこのような立ち位置を形成しているのかと、聴衆の皆さんにあらためて納得していただけたら、僕としてはこれほど嬉しいことはない。

曲目解説

伊津野真一



● J. S. Bach: Motette Nr.1 “Singet dem Herrn ein neues Lied” BWV 225

モテットは、J. S. Bach の時代では、「宗教的な歌詞を持つ声楽曲」という程度の比較的漠然としたジャンルです。J. S. Bach 以降のモテットとしては、例えば、W. A. Mozart のアヴェ・ヴェルム・コルプスが有名です。

J. S. Bach の合唱曲は全般的に難しい曲が多いのですが、その中でも、6曲のモテットは様々な歌唱的テクニックを必要とする難曲であり、傑作です。作曲されたのは、1726～1727 年で、マタイ受難曲の成立と同時期です。モテットの第1番であるこの曲は、規模の大きさ、発想の雄大さ、展開の大胆さから、6曲の中でも最高傑作であると言えます。緻密な構造を持っており、歌詞と音楽との関係が極めて重要な曲なので、歌詞を十分理解したうえで、音楽を作るという当たり前の作業を究極まで求められます。

曲全体は、3部で構成されており、第1部は、「前奏曲とフーガ」のような構成です。第2部は、コラールとアリアの掛け合いが続きます。第3部の「息ある者はみな主をたたえよ」は、第1部と同様の前奏曲とフーガの形で、最後のハレルヤに向かって、力強く情熱的な終曲となっています。

当時のヨーロッパでは、J. S. Bach に比べるとむしろ、G. P. Telemann, G. Händel が人気作曲家だったようですが、W. A. Mozart は、ベルリンへの旅行の途中で立ち寄ったライプツィヒの聖トマス教会で、J. S. Bach のモテット第1番を聞いて衝撃を受け、それから彼の作風が変わっていきます。

● F. J. Haydn: Te Deum für die Kaiserin Marie Therese Hob.XXIIIc:2

テ・デウムは、キリスト教カトリック教会のいわゆる聖歌の一つです。冒頭の“Te deum laudamus”(われら神であるあなたを讃えん)からこの名称と呼ばれます。O. Lasso, H. Purcell, W. A. Mozart, F. Mendelssohn 等がこのテキストを使って作曲しています。2曲ある F. J. Haydn のテ・デウムのうちの後の方で、1798～1800 年に作曲された佳作です。その後演奏される機会は少なく、150 年もの間、ほぼ忘れ去られていたのですが、H. C. R. Landon により発掘され、1950 年代に復活しました。3楽章形式で、10 分足らずの作品ですが、素晴らしい構成感と F. J. Haydn 独特の美しいメロディーがふんだんに使われています。この曲は皇帝フランツ2世の妻で、音楽に強い興味と感心を持っていた Marie Therese(有名なマリア・テレジアの孫)のために書かれたそうです。今では、F. J. Haydn の最も親しみの持てる声楽曲の一つとなっています。

この曲は3部からなる構造で、F. J. Haydn の交響曲の形式を応用したと考えられます。第1部アレグロ(ハ長調)、第2部アダージオ(ハ短調)、これは 10 小節だけなのですが、そして切れ目なく第3部のアレグロ コン スピリト(ハ長調)へと劇的に変化していきます。

● W. A. Mozart: Requiem KV 626

W. A. Mozart は、J. S. Bach と対面する機会はなかったわけですが、上述のように J. S. Bach の影響を強く受けています。レクイエムは Mozart の晩年、ある伯爵の依頼により作曲され、第8曲 Lacrimosa(涙の日)の第8小節まで書かれました。この最後の小節に B-A-C-H の音型が見られるのも偶然ではないのだと思われます。第9-第10曲の主要部分は書かれていましたが、その後 Mozart が死亡したため、残りは弟子の F. X. Süßmayr が補ったとされています。補作、修正、編曲などのため、様々な楽譜がこれまでに出版されています。今回取り上げているのは、F. Beyer による編曲(2005 年出版の新編曲版)で、F. X. Süßmayr の補作を Mozart 的な作風にするため、様々な試みがなされています。

この曲は8部、14曲から構成されています。第1曲冒頭にファゴットで示された「レクイエム」主題(D-Cis-D-E-F)がそのまま、または形を変えながら、さらには断片化されて曲全体に取り入れられています。この主題は、G. Händel や F. J. Haydn の弟 M. Haydn のレクイエムでも使われ、特に M. Haydn の影響を強く受けているそうです。また、Kyrie の主題は G. Händel の「メサイア」第25曲“*And with His stripes*”の主題とよく似ています。さらに、長調ではありますが、G. Händel の The Dettingen Anthem の終曲“*We will rejoice in Thy salvation*”にもよく似ています。オーケストラの編成も非常に変わっています。フルート、オーボエ、クラリネットが入っていません。

この曲は W. A. Mozart の傑作の一つとして演奏会でしばしば演奏されますが、ミサ本来の死者の追悼のためにも演奏され、F. Chopin の葬儀、J. F. Kennedy の追悼ミサでも演奏されています。

1. Chor

Singet dem Herrn ein neues Lied,
die Gemeinde der Heiligen sollen ihn loben.
Israel, freue sich des, der ihn gemacht hat.
Die Kinder Zion sei'n fröhlich über ihrem Könige,
sie sollen loben seinen Namen im Reihem;
mit Pauken und Harfen sollen sie ihm spielen.

[Psalm 149,1-3]

2. Choral & Aria

Choral (Chor II)

Wie sich ein Vater erbarmet
über seine junge Kinderlein,
so tut der Herr uns allen,
so wir ihn kindlich fürchten rein.
Er kennt das arm Gemähte,
Gott weiß, wir sind nur Staub,
gleich wie das Gras vom Rechen,
ein Blum und fallend Laub.
Der Wind nur drüber wehet,
so ist es nicht mehr da,
also der Mensch vergehet,
sein End das ist ihm nah. [Choral: J.Gramann]

Aria (Chor I)

Gott, nimm dich ferner unser an,
denn ohne dich ist nichts getan
mit allen unsern Sachen;
Drum sei du unser Schirm und Licht,
und trügt uns unsre Hoffnung nicht,
so wirst du's ferner machen.
Wohl dem, der sich nur steif und fest
auf dich und deine Huld verläßt.

3. Chor

Lobet den Herrn in seinen Taten,
lobet ihn in seiner großen Herrlichkeit !
Alles, was Odem hat, lobe den Herrn
Halleluja ! [Psalm 150, 2&6]

第1部 合唱

主にむかって新しい歌を歌いなさい、
聖徒たちも集って主を賛美しなさい。
イスラエルよ、その創り主を喜びなさい。
シオンの子らはその王を喜びなさい。
踊りの列の中でその名を称えなさい、
太鼓と豎琴を奏でながら王をほめ歌いなさい。

[詩篇 149,1-3]

第2部 コラール と アリア

コラール (コーラス2)

父親が幼いわが子を
思いやるように
主は私たちすべての者を憐れんでくださり、
私たちは子供のように純粋に主を畏れ敬います。
主は貧しく至らぬ私達をよくご存知であられ
私たちが塵に過ぎないことを知っておいでです。
熊手で集められた雑草のように、
一輪の花、そして散りゆく葉のように、
一陣の風が吹くだけで
あっという間に消え去ってしまう、
人はそのように過ぎ行きてしまい、
その最後の時はすぐ近くにあるのです。 [グラーマン作]

アリア (コーラス1)

神様、これからも私たちを受け入れてください
あなたがいらっしやらないければ
私たちに係る事は何もなされないからです。
私たちの護り、そして光となってください、
そして希望が私たちを欺かなければ
あなたはこれからも受け入れてくださるでしょう。
幸せです、ただひたすらに堅く、あなたと
あなたの恵みに頼る人は。 [アリア：出所不明]

第3部 合唱

その み業のゆえに、主をほめ称えなさい、
その偉大な栄光のゆえに、主をほめ称えなさい！
息あるものは皆、主をほめ称えなさい、
ハレルヤ！ [詩篇 150, 2 & 6]

(歌詞対訳：浜松バッハ研究会)

Te Deum laudamus:
 Te Dominum confitemur.
 Te aeternum Patrem omnis terra veneratur.
 Tibi omnes angeli; Tibi caeli et universae potestates;
 Tibi Cherubim et Seraphim incessabili voce proclamant:

あなたを、神を、われらは誉め、
 あなたを、主を讃えます。
 あなたを、永遠の父を、全地は敬います。
 すべてのみ使いたち、天と世界の力ある者は、
 ケルビムも、セラフィムも、絶えず歓声を上げます。

Sanctus, sanctus, sanctus, Dominus Deus Sabaoth.
 Pleni sunt caeli et terra majestatis gloriae Tuae.

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、万軍の主なる神。
 天と地はあなたの偉大なる栄光に充ち満ちます。

Te gloriosus apostolorum chorus,
 Te prophetarum laudabilis numerus,
 Te martyrum candidatus laudat exercitus.
 Te per orbem terrarum sancta confitetur Ecclesia,
 Patrem immensae majestatis:
 venerandum Tuum verum et unicum Filium;
 sanctum quoque paraclitum Spiritum.

栄光ある使徒たちの合唱、
 讃えられるべき数々の預言者、
 潔き殉教者の軍勢が、あなたを讃美します。
 全地にあまねき聖なる公会は、あなたを讃えます。
 永遠にいます大いなる父と、
 尊きまことのひとり子、
 そして、慰め主なる聖霊を。

Tu Rex gloriae, Christe.
 Tu Patris sempiternus es Filius.
 Tu ad liberandum suscepturus hominem,
 non horruisti Virginis uterum.
 Tu devicto mortis aculeo,
 aperuisti credentibus regna caelorum.

栄光の王キリストよ、
 あなたこそ、父のとこしえの御子。
 あなたは人々を救うために、
 臆せずおとめの胎（はら）に宿られ、
 死のとげに打ち勝ち、
 信ずる者に天国を開かれました。

Tu ad dexteram Dei sedes, in gloria Patris.
 Judex crederis esse venturus.
 Te ergo quaesumus, Tuis famulis subveni:
 quos pretioso sanguine redemisti.
 Aeterna fac cum sanctis Tuis in gloria numerari.

主は、父の栄光のうちに神の右に座し、
 審き主として来られることを信じます。
 どうか、あなたのしもべをお助けください、
 あなたの尊い血によってあがなわれた者らを。
 主の聖徒達と共に永遠の栄光のうちに列せられますように。

Salvum fac populum Tuum, Domine,
 et benedic hereditati Tuae.
 Et rege eos, et extolle illos usque in aeternum.
 Per singulos dies benedicimus Te;
 et laudamus nomen Tuum in saeculum, et in saeculum saeculi.
 Dignare, Domine, die isto sine peccato nos custodire.

主よ、あなたの民を救い、
 あなたの世継ぎを祝福し、
 永遠にこれを治め、高めてください。
 私たちは、日ごとにあなたを祝し、
 世々に限りなくみ名を誉め讃えます。
 主よ、今日も私達を罪なくお保ちください。

Miserere nostri, Domine, miserere nostri.
 Fiat misericordia Tua, Domine,
 super nos, quemadmodum speravimus in Te.
 In Te, Domine, speravi:
 non confundar in aeternum.

私達を憐れんでください、主よ私達を憐れんでください。
 主よ、あなたの憐れみをお与えください、
 われら、あなたに依り頼む人々の上に。
 主よ、あなたに依り頼みます。
 揺るぎなく、とこしえに至るまで。

I. INTROITUS

Requiem

Requiem aeternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.
Te decet hymnus Deus in Sion,
et tibi reddetur votum in Jerusalem:
Exaudi orationem meam
ad te omnis caro veniet.
Requiem aeternam dona eis Domine,
et lux perpetua luceat eis.

II. Kyrie

Kyrie eleison.
Christe eleison.
Kyrie eleison.

III. SEQUENTIA

1. Dies irae

Dies irae, dies illa,
solvat saeculum in favilla:
teste David cum Sibylla.
Quantus tremor est futurus,
quando iudex est venturus,
cuncta stricte discussurus.

2. Tuba mirum

Tuba mirum spargens sonum
per sepulchra regionum,
coget omnes ante thronum.
Mors stupebit et natura,
cum resurget creatura,
judicanti responsura.
Liber scriptus proferetur,
in quo totum continetur,
unde mundus iudicetur.
Iudex ergo cum sedebit,
quidquid latet apparebit:
nil inultum remanebit.
Quid sum miser tunc dicturus?
Quem patronum rogaturus?
Cum vix justus sit securus.

3. Rex tremendae

Rex tremendae majestatis,
qui salvandos salvas gratis,
Salva me, fons pietatis.

4. Recordare

Recordare Jesu pie.
Quod sum causa tuae viae:
ne me perdas illa die.
Quaerens me, Sedisti lassus:
redemisti crucem passus:

I. 入 祭 唱

安息を

永遠の安息を彼らにお与えください、主よ、
そして絶えることのない光が彼らを照らしますように。
神よ、シオンで賛歌を献げるのはあなたにふさわしい。
あなたに誓いの供え物がエルサレムでささげられるでしょう。
聞いてください、わたしの祈りを。
あなたのもとに、すべての肉なるものは来るでしょう。
永遠の安息を彼らにお与えください、主よ、
そして絶えることのない光が彼らを照らしますように。

II. キリエ

主よ 憐れみたまえ。
キリストよ 憐れみたまえ。
主よ 憐れみたまえ。

III. 続 唱

1. 怒りの日

その日は怒りの日
世界を破壊し、灰燼に帰せしめるでしょう、
ダビデとシビラの証しのとおり。
そのおののきはどれほどのものでしょうか、
審判者が来られて
すべてを厳しく裁かれるときは。

2. 不思議なラツパ

ラツパが不思議な音を
各地の墓にあまねく鳴り響かせ、
すべての人を玉座の前に集めるでしょう。
死と自然は驚くでしょう、
造られたものがよみがえって
審判者に答えるときに。
書物が差し出されるでしょう。
すべてのことがその中に記されています。
それによって世界が裁かれるでしょう。
それゆえ審判者が座に着かれるとき、
隠されているものはすべてあらわになり、
報復されずに残るものは何もないでしょう。
哀れなわたしは何を言えるでしょうか。
だれを保護者として頼みにできるでしょうか。
正しい人でさえほとんど平安を得ないときに。

3. 恐るべき王

恐るべき威厳ある王よ、
あなたは救われるべき者を恵みによって救われます。
わたしをお救いください、慈しみの泉よ。

4. 思い出してください

思い出してください、慈しみ深いイエスよ、
あなたが来られたのはわたしのためであったことを。
その日にわたしを滅ぼさないでください。
あなたはわたしを探し求め、疲れて腰を下ろし、
十字架を負って贖いをなさいました。

tantus labor non sit cassus.
Iuste iudex ultionis,
donum fac remissionis,
ante diem rationis.
Ingemisco, tamquam reus:
culpa rubet vultus meus:
supplicanti parce Deus.
Qui Mariam absolvisti,
et latronem exaudisti,
mihi quoque spem dedisti.
Preces meae non sunt dignae:
Sed tu bonus fac benigne,
ne perenni cremer igne.
Inter oves locum praesta,
et ab haedis me sequestra,
statuens in parte dextra.

5. Confutatis

Confutatis maledictis,
flammis acribus addictis.
Voca me cum benedictis.
Oro supplex et acclinis,
cor contritum quasi cinis:
Gere curam mei finis.

6. Lacrimosa

Lacrimosa dies illa,
qua resurget ex favilla
judicandus homo reus:
Huic ergo parce Deus.
Pie Jesu Domine,
dona eis requiem. Amen.

IV. OFFERTORIUM

1. Domine Jesu Christe

Domine Jesu Christe, Rex gloriae,
libera animas omnium fidelium defunctorum
de poenis inferni,
et de profundo lacu:
libera eas de ore leonis,
ne absorbeat eas tartarus,
ne cadant in obscurum:
sed signifer sanctus Michael
repraesentet eas in lucem sanctam:
Quam olim Abrahae promisisti,
et semini ejus.

2. Hostias

Hostias et preces tibi
Domine, laudis offerimus:
tu suscipe pro animabus illis,
quarum hodie memoriam facimus:
fac eas, Domine, de morte transire ad vitam.
Quam olim Abrahae promisisti,
et semini ejus.

それほどの労苦が空しくなりませんように。
報いをなさる正しい審判者よ、
赦しをお与えください、
清算の日の前に。
わたしは罪人のように嘆き、
罪のゆえにわたしの顔は赤らみます。
切に願う者を憐れんでください、神よ。
あなたは（マグダラの）マリアを赦し、
盗賊の願いを聞き、
わたしにも希望を与えられました。
わたしの祈りは価値のないものですが、
しかしあなたは憐れみ深くあってください。
わたしが永遠の火で焼かれることがありませんように。
羊の間に場所を与え、
小山羊からわたしを離して、
右側に立たせてください。

5. 口をふさがれ

呪われた者たちが口をふさがれ、
激しい炎に引き渡されるとき、
祝福された者たちとともにわたしを呼んでください。
わたしは懇願し、ひれ伏して祈ります。
心は灰のようにすりつぶされています。
わたしの最後の不安を引き受けてください。

6. 涙の日

涙に満ちたその日、
人が灰の中からよみがえり、
罪人として裁かれるとき、
どうかこの者を憐れんでください、神よ。
慈しみ深い主イエスよ
彼らに安息をお与えください。アーメン

IV. 奉 献 唱

1. 主イエス・キリストよ

主イエス・キリストよ、栄光の王よ、
解き放ってください、すべて世を去った信徒たちの魂を
地獄の罰から
そして深い淵から。
解き放ってください、それらを獅子の口から。
それらを陰府が呑み込むことがありませんように。
それらが闇の中に陥ることがありませんように。
旗手聖ミカエルが
聖なる光の中へとそれらの魂を導いてくれますように。
かつてあなたがアブラハムと
その子孫に約束されたように。

2. 賛美の供え物

賛美の供え物と祈りをあなたに、
主よ、ささげます。
あなたがそれらの魂のためにこれを受け入れてください、
今日わたしたちがその記念を行う魂のために。
それらの魂を、主よ、死から生命へと移らせてください。
かつてあなたがアブラハムと
その子孫に約束されたように。

V. Sanctus

Sanctus, sanctus, sanctus

Dominus Deus Sabaoth.

Pleni sunt caeli et terra gloria tua.

Osanna in excelsis.

VI. Benedictus

Benedictus qui venit in nomine Domini.

Osanna in excelsis.

VII. AGNUS DEI

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:

dona eis requiem.

Agnus Dei, qui tollis peccata mundi:

dona eis requiem sempiternam.

VIII. COMMUNIO

Lux aeterna luceat eis, Domine:

cum sanctis tuis in aeternum,

quia pius es.

V. 聖なるかな

聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、

主なる万軍の神。

天と地はあなたの栄光で満ちている。

いと高きところにホサナ（お救いください）。

VI. 祝福あれ

祝福あれ、主の御名によって来られる方に。

いと高きところにホサナ。

VII. 神の小羊

世の罪を除く神の小羊よ、

彼らに安息をお与えください、

世の罪を除く神の小羊よ、

彼らに永遠の安息をお与えください。

VIII. 聖体拝領唱

永遠の光が彼らを照らしますように、主よ、

あなたの聖徒たちとともに永遠に、

あなたは憐れみ深くいらっしゃいますから。

(歌詞対訳：井田 泉 訳) 転載許諾済

このコンサートにご協賛・ご支援いただいた方々

(公財)浜松交響楽団 田村 滋治 様

医療法人社団 明徳会 臼井 益 様

秋山損害保険事務所 児玉 久司 様

浜松オンコロジーセンター 様

内山眼科クリニック 様

さんくろう歯科クリニック 様

彦坂 信行 様 岩月 淑記 様

知久 澄子 様 夏目 昌代 様

男声合唱団オーロラ 川島 順三 様

夢汎ホール 松井 睦夫 様

奈良基督教会 司祭 井田 泉 様

カペレ・トリーナ Triona Klee 様

有限会社 松 屋 様

有限会社 府中屋 様

有限会社 シライ商事 様

三宅税理士事務所 様

皆さまの温かいご支援に対し 心から御礼申し上げます。

合唱団メンバー募集

きょうの私たちの演奏は如何でしたか？

バッハは非常に難解だと思われるかもしれませんが、実際に歌ってみるととても自然で親しみやすい音楽です。あなたも一緒に歌ってみませんか？合唱経験の有無は問いません、家族での参加、遠隔地からの参加も歓迎します。

2017~18年 練習予定曲目

ヘンデル 「メサイア」
ベートーヴェン 「ミサ曲 ハ長調」
J.S.バッハ 「モテット 第2番」

浜松バッハ研究会

練習日：毎週土曜日 19:00~21:30

会 場：浜松市東区 積志協働センター

会 費：月額 2,500円

連絡先：河野周平 ☎053-585-3364

<http://music.geocities.jp/hamamatsubach/>

豊橋バッハアンサンブル

練習日：毎週金曜日 20:00~22:00

会 場：豊橋市 新川小学校

会 費：月額 2,500円

連絡先：安井研一 ☎0532-47-0676

<http://www.geocities.jp/bach0532/>

浜松バッハ研究会演奏活動年譜(主要コンサートのみ)

年月日	演奏曲目	指揮者	独唱者	演奏会場
1985. 12. 26	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第1～3部	河野周平	山本智子 / 酒井美知江 座光寺哲 / 渡部成哉	遠州栄光教会
1986. 12. 22	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第1～3部	河野周平	坂野多巳予 / 酒井美知江 西垣俊朗 / 渡部成哉	遠州栄光教会
1988. 3. 21	バッハ「マタイ受難曲」一部割愛	河野周平	西垣俊朗 / 渡部成哉 / 石津真理子 佐藤安子 / 座光寺哲 / 平野満彦	福祉文化会館
1988. 12. 26	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第4～6部	河野周平	高田晴代 / 佐藤安子 座光寺哲 / 高井 治	遠州栄光教会
1990. 10. 7	創立5周年記念コンサート バッハ「ミサ曲口短調」	三澤洋史	蒲原史子 / 寺尾美穂 / 佐藤安子 西垣俊朗 / 牧野正人	福祉文化会館
1990. 12. 16	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第1～3部	三澤洋史	佐地多美 / 寺尾美穂 木下基樹 / 高井 治	遠州栄光教会
1992. 3. 22	バッハ「ヨハネ受難曲」	三澤洋史	木下基樹 / 鈴木 徹 / クラウス・オッカー 山田美津子 / 佐藤安子	福祉文化会館
1993. 3. 21	ヘンデル「メサイア」	三澤洋史	山田美津子 / 佐藤安子 西垣俊朗 / クラウス・オッカー	福祉文化会館
1994. 6. 12	「無伴奏合唱への誘い」 W.バード「4声のミサ」 J. S. バッハ「モテット BWV225 & 229」	三澤洋史	合唱のみ	遠州栄光教会
1995. 1. 22	「ニューイヤーコンサート」/ バッハ名曲選他 第1部・ヴィクトリアとシュッツのモテット 第2部・J. S. バッハのモテットBWV225 第3部・合唱によるJ. S. バッハの名曲 第4部・J. S. バッハの教会カンタータより	三澤洋史	合唱のみ	遠州栄光教会
1996. 2. 18	創立10周年記念コンサート バッハ「マタイ受難曲」全曲	三澤洋史	頃安利秀 / 渡部成哉 / 山田美津子 佐藤安子 / 小田 薫 / 長谷川顯	アクト中ホール
1997. 2. 16	バッハ「マニフィカート」 モーツァルト「レクイエム(バイヤー版)」	三澤洋史	田村麻子 / 小田 薫 西垣俊朗 / 長谷川顯	アクト中ホール
1998. 4. 5	バッハ「BWV227、BWV106、BWV131」他	三澤洋史	小田 薫 / 西垣俊朗 / 長谷川顯	福祉文化会館
2000. 2. 13	バッハ「ミサ曲口短調」	三澤洋史	藤崎美苗 / 永島陽子 西垣俊朗 / 長谷川顯	アクト中ホール
2000. 12. 29 - 2001. 1. 8	ドイツ演奏旅行	三澤洋史	藤崎美苗 / 山下牧子 望月哲也 / 初鹿野剛	
12.31	ドルンハイム バルトロメ教会(バッハが結婚式を挙げた教会)		モテット6番奉納演奏	
	アルンシュタット バッハ教会(バッハが最初に職を得た教会)		ジルベスタ・コンサート出演 モテット6番 BWV171	
1.1	アイゼナハ ゲオルグ教会(バッハが洗礼を受けた教会)		新年礼拝にてクリスマスオラトリオ4部の一部を演奏	
1.2	エアフルト シャウシュピールハウス(バッハ一族の本拠地)		「ミサ曲口短調」演奏会開催	
1.3	ナウムブルグ ヴェンツェル教会(バッハが理想とするオルガンが現存)		モテット6番奉納演奏	
1.4	ハレ マルクト教会(ヘンデルが学び、バッハの息子が活躍)		「ミサ曲口短調」演奏会開催	
1.5	ライプツィヒ 聖トーマス教会(バッハが晩年の27年を過ごした聖地)		木曜日のモテットミサ演奏担当 モテット6番、BWV171	
1.6	ライプツィヒ 聖トーマス教会(バッハが晩年の27年を過ごした聖地)		金曜日のモテットミサ演奏担当 モテット6番、BWV65	
2001. 4. 22	バッハ「復活祭オラトリオ」BWV249 「カンタータ BWV80、モテットBWV228 & 230」	三澤洋史	藤崎美苗 / 永島陽子 西垣俊朗 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2003. 2. 23	バッハ「ヨハネ受難曲」	三澤洋史	西垣俊朗 / 小原浄二 藤崎美苗 / 永島陽子 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2005. 9. 25	創立20周年記念コンサート バッハ「マタイ受難曲」	三澤洋史	植木紀夫 / 長谷川顯 藤崎美苗 / 永島陽子 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2006. 12. 23	バッハ「クリスマス・オラトリオ」第1～3部	三澤洋史	大谷知佳子 / 朴 瑛実 西垣俊朗 / 西垣俊紘	カトリック浜松教会
2007. 11. 10	「とってもバッハな午後をあなたに」 バッハ「カンタータ140、147 ミサ曲A-Dur」	三澤洋史	飯田みち代 / 渡部菜津美 神田豊尋 / 塩入功司	福祉交流センター ホール
2010. 1. 17	創立25周年記念コンサート No.1 ヘンデル「メサイア」	三澤洋史	國光ともこ / 三輪陽子 大槻孝志 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2010. 12. 23	創立25周年記念コンサート No.2 クリスマスコンサート バッハ「マニフィカート Es-Dur」 三澤洋史編「クリスマス・メドレー」他	三澤洋史	大谷知佳子 / 三輪陽子 西垣俊朗 / 河野真剛	カトリック浜松教会
2012. 10. 20	浜松のバッハ40年記念 バッハ「ミサ曲口短調」	三澤洋史	國光ともこ / 三輪陽子 畑 儀文 / 初鹿野剛	アクト中ホール
2015. 4. 19	創立30周年記念コンサート(豊橋20周年記念) バッハ「マタイ受難曲」	三澤洋史	畑 儀文 / 大森いちえい 國光ともこ / 三輪陽子 / 塩入功司	アクト中ホール
2017. 6. 18	「J.S.バッハの系譜」- I ハイドンとモーツァルト バッハ「モテット1番」 ハイドン「テ・デウム C-Dur II」 モーツァルト「レクイエム」	三澤洋史	飯田みち代 / 森 季子 大久保亮 / 能勢健司	アクト中ホール



森下レディースクリニック

産婦人科

〔診療受付時間〕

午前 9:00~12:00

午後 4:00~ 6:00

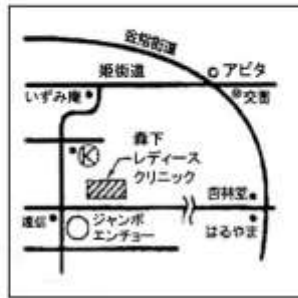
〔休診〕

日曜・祝祭日

土曜及び木曜の午後

浜松市中区高丘東 5-12-1

Tel. 437-2200



男声合唱団オーロラ 創立 15 周年記念演奏会

『わが人生に歌がある!』

2017年9月16日(土) 14時開演

アクトシティ浜松・中ホール



指揮: 玉川 昌幸・齊藤 晴司・河野 周平

ピアノ: 山崎 恵子・伊藤 純 オルガン: 内山 美穂

1. 唱歌メドレー「ふるさとの四季」 2. 男声合唱の魅力
3. パイプオルガンとの出会い 4. わが人生に歌がある

地元浜松の工務店で作る安心・こだわりの注文住宅。

リフォーム・土地探し・防犯のご相談もお気軽に!



〒433-8105

浜松市北区三方原町 626-3 ☎0120-17-2347



ガステックサービス株式会社

東三河支社 豊橋市白河町100 0532-31-3125
浜松支社 浜松市東区西塚町200 053-463-2196

♪♪ バッハアンサンブル名古屋 第14回演奏会のご案内 ♪♪

2017年10月9日(月・祝)

三井住友海上 しらかわホール

曲 目 : J.S. Bach

☆ミサ曲 ト長調 「キリエ、グロリア」

BWV236 "Kyrie, Gloria"

☆カンタータ第 96 番「主 キリスト、神の独り子」

BWV96 "Herr Christ, der einge Gottessohn"

☆カンタータ第 173 番「高く挙げられし血肉よ」

BWV173 "Erhöhtes Fleisch und Blut"

☆カンタータ第 178 番「主なる神われらの側にいますずして」

BWV178 "Wo Gott der Herr nicht bei uns hält"

指 揮: 李 善 銘

合唱・管弦楽: バッハアンサンブル名古屋

主 催: バッハアンサンブル名古屋

「私たちには、御父の御前で弁護してくださる方があります。それは、義なるイエス・キリストです。」(聖書)

弁護士 平野 好道

名古屋市中区錦1-20-25
広小路YMDビル7F 草野法律事務所
電話 052-203-5305
FAX 052-203-8118
e-mail:yhirano@abelia.ocn.ne.jp

森 内科

内科
消化器科

院長 森 昭夫

〒432-8061 浜松市西区入野町 9037
Tel. 053-448-5109 Fax. 053-448-5169



ほの国百貨店 3F

アイル



AUSTIN REED
REGENT STREET, LONDON

TRU TRUSSARDI
STILE

豊橋市駅前大通 2-10
TEL (0532) 56-2881 (直通)



大津ティナ

〒440-0882 愛知県豊橋市神明町11番地
Tel. 0532-52-5738

地鋪・名古屋コーチン・鶴
宴会コース料理

昭和二十一年創業
つぎたし秘伝の
たれが自慢

♪フェスティナ・レンテ合奏団♪

創立35周年記念演奏会
第5回チャリティーコンサート

開催日：2017年10月22日(日)
会場：ライフポートとよはしコンサートホール

指揮：角田 鋼亮
ヴァイオリン：村木 洸斗(浜松出身)

曲目：
ベートーヴェン 交響曲第7番
チャイコフスキー ヴァイオリン協奏曲
ディズニーメドレー



すべては、子どもたちのために。

地域特有の個性と文化を育み、
保育環境の未来を提案する。
それが、私たちの仕事です。

株式会社 **ジャクエツ**
www.jakuetsu.co.jp



KOBAYASHI KIDS

小林 **きつす** 社

代表 小林 勉

〒431-1304 浜松市北区細江町中川 7172-1560
TEL・FAX 053-523-0590

介護付 有料老人ホーム
サービスセンター

 **銀の家**

〒441-8151 豊橋市曙町字測点 188 番地
TEL 0532-38-8848 FAX 0532-38-8854
<http://ginnoie.webcrow.jp/>



お仏壇の
すずや
SUZUYA

株式会社
すずや仏具店

豊橋市佐藤一丁目 11-19
TEL. 0532-64-5115
営業時間 AM9:00~PM6:00

I'll
I'll Co., Ltd.

雨
Teresavanlauren

WORLD

EIKO KONDO

io comme io



豊橋市駅前大通 2-10
ほの国百貨店 3F アイル
TEL (0532) 54-7500 (直通)

 さわらびグループ *みんなの笑顔が幸せ*
SAWARABI GROUP

医療法人・社会福祉法人

さわらび会 福祉村病院

Tel 0532-46-7511 Fax 0532-46-4899

祝 浜松バッハ研究会・豊橋バッハアンサンブル演奏会



♪ 緑陰に立つ小さな音楽サロン ♪

- ・サロンコンサート・音楽教室発表会
- ・リハーサル室・コーラス練習会場
- ・パーティー・講演会 等々にご利用下さい



コンサートサロン

Yume・Hiro Hall

浜松市中区富塚町 4710-9

Tel. 053-458-0016 (松井)

e-mail: yumehiro-matsui@indigo.plala.or.jp

URL: <http://www9.plala.or.jp/yumehiro/>

珈楽庵

珈琲茶寮・浜松珈楽庵

浜松市東区有玉北町 1229

(積志小学校向かい)

Tel 053 (543) 9070



Jazz, シャンソン, クラシック... 毎週金曜日の夜、いつもより
ちょっと特別なメニューと、ステキな音楽をお届けする
珈楽庵の夜会 詳しくは FaceBook をご覧ください
<https://www.facebook.com/pg/hamamatsukarakuan/posts/>

御会合、御待ち合わせにご利用下さい。
コンgresセンター(ドリンク・お弁当・パーティー)
ケータリングサービスしております。

ティールラウンジ

MINUET

MINUET

〒430-0928 浜松市 中区 板屋町 111-1
アクトシティ浜松・中ホール隣 TEL (053)451-0187



医療法人 社団 明徳会
介護老人保健施設

エーテルワイス

いつくしみの郷

グループホーム いつくしみの郷

ゆとりの郷

ケアハウス ゆとりの郷

メディカルテラス

介護付有料老人ホーム メディカルテラス

〒434-0041 浜松市浜北区平口 2405

TEL 053 (585) 1500 FAX 053 (585) 1501

ホームページ <http://www.r-del.jp> メールアドレス info@e-del.jp